

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 日本史 科目 日本史探究

教 科： 日本史 科 目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（『詳説日本史』山川出版社）

教科 日本史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】主体的・対話的で深い学びを実現するために、課題を設定し、その追究の枠組みとなる多様な視点に注目する。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする活動を展開し、広い視野を獲得する。
- 【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な現代世界に関する歴史的認識を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により国民の自覚、自国の歴史への愛情、他国や他国の文化を尊重する精神などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	軍部の台頭 【知識及び技能】 国家主義の高まりと日本が国際的に孤立していく過程を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 満州事変が日中戦争に発展する経緯を資料・地図から考察する。  【学びに向かう力、人間性等】 自分を当時の国民の立場に置き換え、統制と動員について想像する。	1. ガイダンス  2. 日本は中国との全面戦争をどのように始めたのか  3. 政府はどのように国民を戦争に動員したのか	【知識・技能】 満州事変に際しての世論・軍部の直接行動に関する諸資料から情報を読み取れている。  【思考・判断・表現】 「満州国」および華北五省の位置を白地図上で示すことができる。国内の軍部の政治的進出、中国側の蒋介石の徹底抗戦の覚悟と汪兆銘の判断など、歴史用語を用いながら説明できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 軍部の政治的台頭に依拠する統制・動員・弾圧について、自らにひきつけて捉えようとしている。	○	○	○	5
	第二次世界大戦① 【知識及び技能】 日中戦争から日米開戦に至る過程を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 「大東亜共栄圏」の理念と実態について、資料から考察する。  【学びに向かう力、人間性等】 自分を当時の国民の立場に置き換え、開戦当時の世論の背景について想像する。	4. ドイツが戦争を始めると、日本はどう対応したのか  5. 日本はどのようにアメリカとの戦争を始めたのか  6. 日本は「大東亜共栄圏」で何を行ったのか	【知識・技能】 欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取れている。  【思考・判断・表現】 「大東亜共栄圏」の理念と実態について、日本が行った主な政策とその影響を、歴史用語を用いながら説明できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争と日米開戦に対する世論の違いについて、当時の日記などから読み取り、自らにひきつけて捉えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第二次世界大戦② 【知識及び技能】 空襲や沖繩戦、原爆投下などの被害を学び、降伏に至る過程を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 総力戦の特色を踏まえ、空前の惨禍について、資料から考察する。  【学びに向かう力、人間性等】 戦時下の生活を資料から想像しつつ、各人が平和で民主的な社会の実現に努める重要性を認識する。	7. 戦争中にはどのような教育が行われていたのか  8. 国民はどのように戦争を支えていたのか  9. 沖繩戦はどのような目的で行われたのか  10. 日本はどのように降伏を決定したのか  11. 日本の占領はどのように始められたのか	【知識・技能】 戦時体制の強化と戦争の長期化がもたらした被害について理解している。  【思考・判断・表現】 日中戦争・第二次世界大戦・アジア太平洋戦争の特色と惨禍について、歴史用語を用いながら説明できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 空襲・沖繩戦・原爆投下・満蒙開拓などに関する証言を読む・視聴することを通して、平和で民主的な社会の実現に必要なものは何か、追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	関東大震災 【知識及び技能】 関東大震災の被害と影響について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 関東大震災が社会に及ぼした被害・影響について、資料から考察する。  【学びに向かう力、人間性等】 関東大震災後に発生したヘイトクライムの背景を想像し、災害時に自らが加害者とならないために平時から出来ることは何か、追究する。	12. 関東大震災によって何が起こったか	【知識・技能】 関東大震災の被害を、社会主義者や朝鮮人・中国人に対する殺傷事件の発生も含めて理解している。  【思考・判断・表現】 関東大震災が社会に及ぼした被害・影響について、歴史用語を用いながら説明できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 「ヘイトクライム」に関する「質問づくり」などをおこない、内なる差別意識を認識したうえで正す大切さ、情報リテラシー、批判的思考力の重要性など、自分事として追究しようとしている。	○	○	○	2
	戦後の日本と世界 【知識及び技能】 日本の敗戦がアジアに与えた影響について、国・地域別に理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう諸改革について考察し、	13. 日本の降伏はアジアにどのような影響を与えたか  14. 日本国憲法によって何がどう変わったのか  15. アメリカの日本占領政策は、どう変わっていったのか	【知識・技能】 日本の敗戦がアジアに与えた影響を、複数の国・地域について諸資料から読み取れている。  【思考・判断・表現】 占領政策と諸改革について、歴史用語を用いながら説明できる。	○	○	○	5

2 学 期	<p>する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法の複数の条文を大日本帝国憲法と比較し、新憲法制定の意義を見いだす。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法の特徴と意義を、大日本帝国憲法と比較し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	○
	<p>冷戦の開始と講和</p> <p>【知識及び技能】 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 55年体制がうまれた経緯について、外交・政治・経済を踏まえて理解し、成果と課題を追究する。</p>	<p>16. 朝鮮戦争は日本にどのような影響を与えたか</p> <p>17. 日本はどのように独立したのか</p> <p>18. 55年体制はどのように成立したのか</p>	<p>【知識・技能】 占領政策の転換による日本の政治・経済の変化について、諸資料から読み取れている。</p> <p>【思考・判断・表現】 サンフランシスコ平和条約および日米安全保障条約について、歴史用語を用いながら説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 独立後の国内政治について、主体的に課題を見いだそうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>高度成長の時代</p> <p>【知識及び技能】 ソ連・アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目し、独立後の外交について整理・理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 新安保条約・沖縄返還問題など、外交事案がもたらした課題について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高度経済成長がもたらした国内外の変化について、その光と影を検証しようとする。</p>	<p>19. 戦後の外交① 日ソ共同宣言～LT貿易</p> <p>20. 戦後の外交② 日韓基本条約～日中共同声明</p> <p>21. 高度経済成長はどのように始まり、終わったのか</p> <p>22. 経済大国化とバブル経済の崩壊は何をもたらしたのか</p>	<p>【知識・技能】 独立後の日本の外交について、条約や声明など諸資料から読み取れている。</p> <p>【思考・判断・表現】 新安保条約や沖縄返還問題など、安全保障と人権をめぐる問題について、歴史用語を用いながら説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高度経済成長がもたらした変化の是非を問い、自らの生活にひきつけて捉えようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>冷戦終結と日本社会</p> <p>【知識及び技能】 冷戦終結後の国際関係について整理・理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国連平和維持活動への対応など、冷戦終結後の日本が抱える課題について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、追究する。</p>	<p>23. 冷戦終結、湾岸戦争は日本にどのような影響を与えたのか</p>	<p>【知識・技能】 冷戦終結後の国際関係について、諸資料から読み取れている。</p> <p>【思考・判断・表現】 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革について、歴史用語を用いながら説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦終結後の日本の国際社会における取り組みについて、課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
3 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>テーマ史</p> <p>【知識及び技能】 貨幣や宗教をテーマとして、教科書知識を通史的に整理・理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域の歴史を学びつつ、蝦夷地直轄化、琉球処分について確認し、現代の諸課題についても考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 女性・家族という身近なテーマを通し、現代の自分につながる歴史を感じ取る。</p>	<p>24. 貨幣史 ～東アジア・世界とつながる経済を知る～</p> <p>25. 宗教史 ～古代から現代まで国家と宗教の関係を整理する～</p> <p>26. 地域史（琉球・蝦夷）～地域文化を学び、日本に編入された経緯を確認する～</p> <p>27. 女性史・家族史 ～ジェンダーの視点から歴史を見直す～</p>	<p>【知識・技能】 貨幣史・宗教史について、諸資料から読み取り、それぞれの画期を日本史の全体像のなかに位置付けられている。</p> <p>【思考・判断・表現】 アイヌや琉球の文化の形成および、現代の人権に関わる諸課題について、歴史用語を用いながら説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 女性・家族をめぐる歴史の学習を通し、自らにひきつけて主体的に課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
							合計
							70